

来場者の試食・投票で最優秀レシピを決定するレシピコンテストや
缶詰博士・黒川勇人氏厳選の最新“レア缶詰”展示、防災体験コーナー(神田消防署)も!

防災週間・『9/1 防災の日』に向けて 「缶詰・びん詰・レトルト食品フェスティバル2016」開催!!

- 日時：8月28日(日) 11:00~16:30 ※雨天決行
- 会場：ベルサール秋葉原(1F HALL)

公益社団法人日本缶詰びん詰レトルト食品協会(東京都千代田区/会長:西秀訓)は、9月1日(木)の『防災の日』に向けて、来る8月28日(日) 11:00~16:30にベルサール秋葉原にて「缶詰・びん詰・レトルト食品フェスティバル2016」を開催します。

本フェスティバルは、「缶詰・びん詰・レトルト食品」が食材として高い利便性・汎用性を有していること、さらに、保存性に優れることから災害時にも役立つ食品であることを、生活者に再認識してもらうために開催する“1年に1度の大祭典”です。

メインイベントは『缶詰・びん詰・レトルト食品を使った週末の食卓レシピコンテスト』。今年は“簡単だけどちょっと豪華に!”をテーマに、一般公募で全国から集まったレシピ(約220点)の中からあらかじめ優秀作品に選ばれた4点のレシピについて、考案者(4名)が会場で調理デモを実施。一般来場者が審査員となって試食(無料)・投票の上、最優秀レシピを決定します。

また、“缶詰博士”こと黒川勇人氏の解説で展開するステージイベント「黒川勇人の缶詰、びん詰、レトルト食品 キになるゼミナール」では、缶詰・びん詰・レトルト食品メーカーの担当者(協賛企業)とともに最新の缶詰情報を紹介。さらに、缶詰・びん詰・レトルト食品の創作オリジナルメニュー(服部学園監修)を提供してみちのく未来基金への募金を呼びかける「チャリティCAFE」も出店するなど盛りだくさんです。

このほか、来場者が大切な人へのメッセージカードを入れた缶詰を作る「オリジナルメッセージ缶ファクトリー」や子供向けの開缶体験コーナー、そして神田消防署の協力により起震車などを設置した「防災体験コーナー」など、『防災の日』ならではのコンテンツも用意しています。

つきましては、ご多用中とは存じますが、何卒本フェスティバルのご取材を賜りたく、ここにご案内方々お願い申し上げます。なお、ご取材予定につきまして、別紙のFAX送信書に必要事項をご記入の上、広報事務局宛にご返送くださいますようお願いいたします。



本件に関するお問合せは下記まで

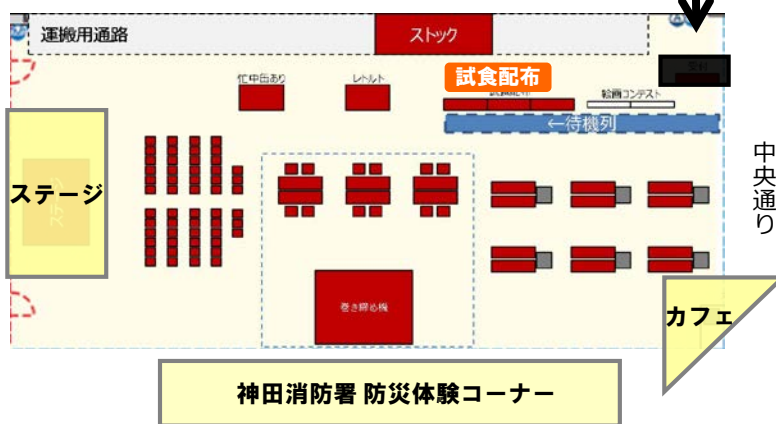
「缶詰・びん詰・レトルト食品フェスティバル2016」広報事務局
担当: 森田・副島(そえじま) TEL.03-3583-6157 FAX.03-3583-6208
(ご掲載時の読者からの問い合わせ先: 公益社団法人 日本缶詰びん詰レトルト食品協会 担当: 藤崎 TEL.03-5256-4801)

「缶詰・びん詰・レトルト食品フェスティバル2016」開催概要

- 名称：防災の日 缶詰・びん詰・レトルト食品フェスティバル 2016 in 秋葉原
- 主催：公益社団法人 日本缶詰びん詰レトルト食品協会
- 後援：総務省消防庁、東京都、農林水産省
- 協力：日本製缶協会、学校法人服部学園服部栄養専門学校、東京料理研究会、アサヒビール株式会社、アサヒ飲料株式会社、神田消防署、神田消防団、アイランド株式会社、株式会社アンブラージュインターナショナル
- 協賛：味の素株式会社、いなば食品株式会社、SSKセールス株式会社、エスピー食品株式会社、エム・シーシー食品株式会社、大塚食品株式会社、カゴメ株式会社、川商フーズ株式会社、キューピー株式会社、株式会社極洋、コープ食品株式会社、コーミ株式会社、国分グループ本社株式会社、株式会社サンヨー堂、ストー缶詰株式会社、天狗缶詰株式会社、トーヨーフーズ株式会社、株式会社ニチレイフーズ、日興食品株式会社、日東アリマン株式会社、日東ベスト株式会社、日本水産株式会社、はごろもフーズ株式会社、ハウス食品グループ本社株式会社、株式会社宝幸、株式会社ホテイフーズコーポレーション、マルハニチロ株式会社、三菱食品株式会社、ヤマモリ株式会社（29社・50音順）
- 商品協賛：岩手缶詰株式会社、エバラ食品工業株式会社、寿高原食品株式会社、大和製罐株式会社、長野興農株式会社
- 目的：①缶詰・びん詰・レトルト食品の特性である即食・個性性、汎用性などの訴求を通じて日常食としての利用機会創出を図る。
②缶詰・びん詰・レトルト食品が保存性に優れ、非常食としても役立つことから、循環備蓄などを通じた日常的な常備の必要性についても啓発する。
- 日時：8月28日（日）11：00～16：30
- 会場：ベルサール秋葉原（1F HALL）/千代田区外神田3-12-8 住友不動産秋葉原ビル
- 入場料：無料



※会場予定図



- 【交通】JR『秋葉原駅』（電気街口）～徒歩4分
つくばエクスプレス『秋葉原駅』（A3出口）～徒歩5分
東京メトロ日比谷線『秋葉原駅』（2番出口）～徒歩7分

「公益社団法人 日本缶詰びん詰レトルト食品協会」概要

- 名称：公益社団法人 日本缶詰びん詰レトルト食品協会
- 所在地：東京都千代田区神田東松下町10-2 翔和神田ビル3F
(TEL.03-5256-4801 FAX.03-5256-4805)
- 設立：昭和2年3月
- 役割：日本缶詰びん詰レトルト食品協会は、「缶詰、びん詰、レトルト食品の安全性の確保と品質の向上を図るために、必要な事項についての研究・調査、技術開発、指導及び普及啓発を行い、もって国民の豊かな食生活の実現と国民経済の健全な発展に寄与すること」を目的として組織されている団体です。したがって、缶詰業界の指導的役割を果していると同時に、缶詰企業と行政当局や消費者を、それぞれにつなぐパイプの役割も、具体的な事業を通じて果しています。
- 会長：西秀訓（カゴメ株式会社 取締役会長）
- 会員数：会員（280社）・賛助会員（118社） 合計（398社・28年7月現在）

開催内容

「缶詰・びん詰・レトルト食品を使った週末の食卓レシピコンテスト」

料理ブログのレシピポータルサイト「レシピブログ」と連動して、缶詰・びん詰・レトルト食品を使ったアレンジレシピを事前に全国から募集。当日は、“簡単だけどちょっと豪華に！”をテーマに集まったレシピ（約220点）の中から優秀作品に選ばれた4点のレシピ考案者が会場で実際に調理し、それを一般来場者が試食（無料）・投票して最優秀レシピを決定する楽しいイベントです。



缶詰博士の缶詰・びん詰・レトルト食品「キになるゼミナール」・「厳選！こだわり缶詰紹介コーナー」

缶詰博士・黒川勇人氏が今年も登場！ステージ上で、各食品メーカー（協賛企業）の担当者とともに最新の缶詰、びん詰、レトルト食品に込められた想いや、消費者の皆様へ耳寄りな情報などについて解説。また、黒川氏が厳選した最新の珍しい缶詰も展示・紹介します。



●黒川勇人／缶詰博士

缶詰を日々取材し精通していることから「缶詰博士」として、様々なメディア出演や執筆活動で活躍中。著書に「安い！早い！だけどとてつもなく旨い！缶たん料理100」（講談社）、「缶詰博士が選ぶ『レジェンド缶詰』究極の逸品36」「日本全国『ローカル缶詰』驚きの逸品36」（共に講談社+a新書）等多数。

缶詰・びん詰・レトルト食品を使ったオリジナルメニューを提供する「チャリティCAFE」オープン！

服部学園の監修・協力のもと缶詰・びん詰・レトルト食品をアレンジしたこの日限りの創作オリジナルメニューとドリンクをセットにして、来場者に100円以上の募金で提供するチャリティCAFEをオープン。集まった募金は、みちのく未来基金（震災遺児の進学を支援する基金）に寄付します。

オリジナルメッセージ缶ファクトリー／正しい缶の開け方を楽しく学ぼう！開缶体験

日本製缶協会の「オリジナルメッセージ缶ファクトリー」では、来場者が大切な人へのメッセージカードを詰めて、缶のラベルもデザインできるオリジナル缶詰が作れます。

また、お子様のみを対象に、スタッフが缶詰の正しい開け方をレクチャーします。※参加無料



防災体験コーナー

神田消防署の協力により、起震車や応急救護普及車、可搬式ポンプ車などを展示した防災・災害に関する体験型コーナーの設置を予定しています。神田消防署員の指導で、初期消火訓練や応急救護訓練、防火衣装着などを体験できます。※参加無料



「あったらいいな！こんな缶詰」絵画コンテスト入賞作品発表

全国の小学生以下のお子様たちを対象に絵画コンテストを初めて実施。“こんな缶詰あったらいいな”をテーマに絵画を募集し、入賞作品10点を会場内に展示します。

誠に恐れ入りますが、必要事項をご記入頂き、8月25日（木）までに下記事務局宛にご送付くださいますよう、お願い申し上げます。

F A X 送 信 書

「缶詰・びん詰・レトルト食品フェスティバル2016」 広報事務局行き

FAX.03-3583-6208

「缶詰・びん詰・レトルト食品フェスティバル2016」

■日 時:2016年8月28日(日)11:00~16:30(10:45~受付開始)

■会 場:ベルサール秋葉原(1F HALL)

※当日の緊急連絡先:080-6843-4895(深沢)、080-6843-4990(柏木)

該当する方に「v」マークをお付けください

ご取材予定有り

ご取材予定無し

■媒体名 [_____]

■御社名 [_____]

■部署名 [_____]

■お名前 [_____ 他: _____ 名]

■ご連絡先 [_____]

【留意事項】

ご取材の際は必ず報道受付（開催概要の頁参照）でお手続きの上、プレス証を着用してご取材下さい。